

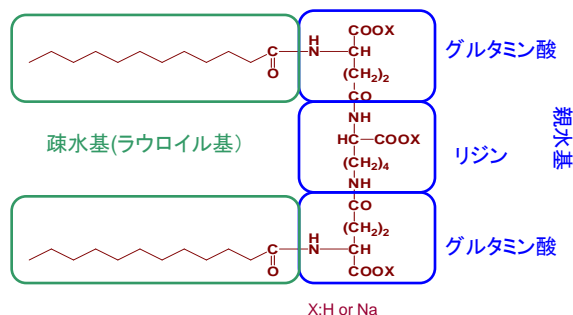
ペリセアとは...

- 天然の脂肪酸とアミノ酸を原料とする2鎖3親水基のジェミニ(双子)型両親媒性化合物です。
- 原料は全て植物由来です。石油由来・動物由来原料は使用しておりません。(BGを除く)
- 角層内部に浸透し、セラミドと同様の働きで皮膚のバリア機能を改善し、肌の弾力・キメを回復させます。
- 毛髪の深部に浸透し、傷んだ毛髪の強度・太さ・水分量を改善、ハリコシ感・スベリ感を与えます。
- 極めて少量で、乳化分散能を発揮します。ノニオン系乳化剤に比べ、使用感に優れ、また乳化コストの低減も可能にします。
- D相ゲルの手法により、様々なオイルをゲル化します。肌にやさしいクレンジングやマッサージオイルの処方が可能です。

ペリセアのスキンケア機能

セラミドより高い浸透性で、うるおいのある肌を実感できます。

- 角層内部に浸透し、セラミドと同様の働きで皮膚のバリア機能を改善、傷んだ肌を修復します。
 - 角層内部に浸透しラメラ液晶構造を形成します。
 - 傷んだ肌のTEWL・角層水分量を改善します。
- 肌の弾力・キメを改善します。
- 保湿感・浸透感などの優れた使用感を実感できます



ペリセアの化学構造

用途例

- 化粧水、乳液、クリーム、美容液、パック等各種スキンケア商品
- 洗顔料、固形石鹸、メイククレンジング、ボディソープ
- ハンドクリーム

推奨配合量

- ペリセアLB-10 1.0%
- ペリセアL-30 0.3%
- (固形分濃度0.1%)

一般情報

ペリセアのグレードラインナップ

品名	ペリセアLB-10	ペリセアL-30
表示名称	ジラウロイルグルタミン酸リシンNa (10%) BG (10%) 水 (80%)	ジラウロイルグルタミン酸リシンNa (29%) 水 (71%)
荷姿	18kg缶	1kg缶、18kg缶

ペリセア塗布によるキメの回復

ペリセア塗布(固形分濃度0.1%)により、皮膚のバリア機能を速やかに改善し、肌のキメを回復させます。



荒れ肌作成(ヤシ油脂肪酸カリウム石鹼33%水溶液を1時間閉塞貼付)後、ペリセア固形分濃度0.1%水溶液を1日2回塗布して観察した。

洗顔料への添加効果

ペリセアを添加することで、カリ石鹼による洗浄を繰り返した後も、皮膚のバリア機能を維持し、肌のキメを保ちます。洗顔料だけでなく、メイククレンジングにおいても同様の効果が期待できます。

カリ石ケン素地(33%)にペリセア(固形分0.1%)を添加し洗浄

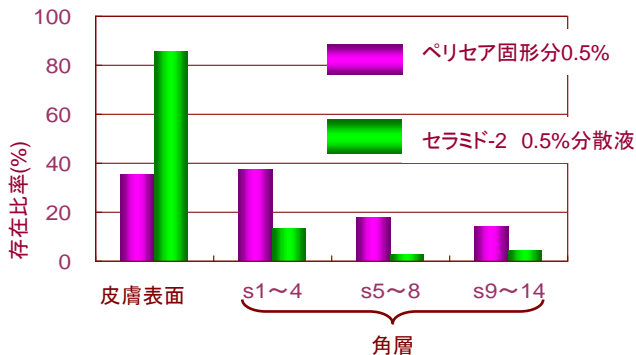


カリ石ケン素地(33%)のみで洗浄



角層内部への浸透性

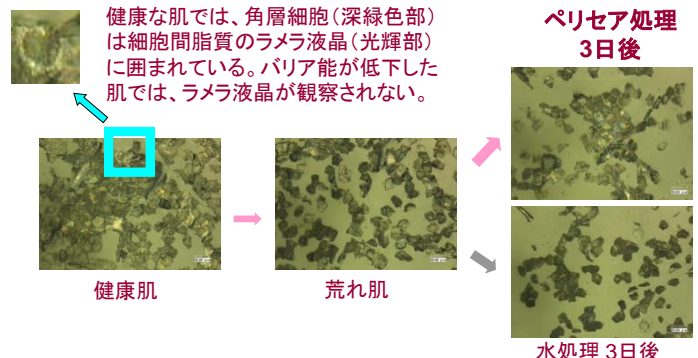
ペリセアとセラミドをそれぞれ肌に塗布すると、ペリセアのほうが角層内部に浸透しやすいことが確認できます



皮膚表面にペリセア水溶液・セラミド分散液をそれぞれ一定量塗布。テープで皮膚表面を14回ストリッピングし、角層を剥離。テープに付着したペリセア・セラミドをそれぞれ抽出し、HPLCにて定量した。1~4回のテープから定量された量を合計しS1~4、5~8回をS5~8、9~14回をS9~14としグラフに表示。ストリッピング前には、脱脂綿で皮膚表面を拭き取り、同様に定量し、皮膚表面としてグラフに表示した。

角層中のラメラ液晶構造の回復

ペリセアが角層に浸透し、細胞間脂質のラメラ液晶構造を回復させていることが観察されます



肌荒れ作成後(SDS10%塗布)、0.72%ペリセア水溶液を1日2回塗布後、マイクロSCOPE(VHX-900(キーエンス))により観察。塗布量:2μL/cm²

掲載のデータ・数値は、一定の試験法に基づき当社が得た代表値であり、保証値ではありません。また、これらのデータや数値は、物性の改良のため変更する事もあります。当社では安全データシート(SDS)を作成しておりますので、お取扱前にはご参照ください。

ペリセアをご使用になった製品の安全性及び関連法規への適合性ならびに第三者の有する知的財産権への抵触に関しては、貴社にて調査くださいますようお願い致します。